国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

						ı											
レジメン名称			+ACT-D)療法				臨床区分				抗癌剤適応分類				登	禄日	2013年12月7日
疾患名 絨毛癌						_	▼ 日常診療				☑ 進行・再発化学療法						
診療科名 婦人科							□ 単施設自主研究				□ 術後化学療法				1クール期間		14~21⊟
登録医師名 山本 暖							□ 他施設自主研究			□ 術前化学療法				「フール期间		14,~210	
·			-				□ 市販後臨床研究				□ 局所療法				実施回数		/🗖
							□治験				□その他						/0
Rp	薬品名称	標準投与量	単位 投与方法		ルート	投与時間				投与日						注意コメント	
Пр				以一八仏	70 1	1X — IDI	day1	day2	day3	day4	day5	_	_	_	_	_	
1	生理食塩液	100	mL_	点滴静注	メイン							_					血管確保用
'			 	州间野土	スイン							_			_	_	
	グラニセトロン点滴静注液3mgバック	7 1	袋														
2	デキサート注射液 6.6mg	1	瓶	点滴静注	側管	30min						_	_	_	_	_	
	 コスメゲン静注用	٥٢	/1 1														フランだいおきロハルのききはロル
4	注射用水	0,5 —	mg/body	点滴静注	注 メイン	全開	•	•	•	•	lacksquare	_	_	_ _	_	_	コスメゲン静注用1Vにつき注射用水 1.1mLで溶解する。
	生理食塩液	50	mL	WW-10101-VI													
	ソルデム3A輸液	1000	mL				_	_		_	_						ワンバックに調製する。
5	フルオロウラシル点滴静注	1500	mg/body	点滴静注	メイン	8H						_	_	_	_	_	
6		 	 														
			<u> </u>														
備考標	描名欄 減量・中止基準																
用'51	利		<u>购</u> 里《丁正坐平									1					
]					

文献 Salvage Combination Chemotherapy with 5-Fluorouracil and Actinomycin D for Patients with Refractory,High-Risk Gestational Trophoblastic Tumors